



特定非営利活動法人

神戸日独協会会報

BERICHTE DER NPO JAPANISCH-DEUTSCHEN GESELLSCHAFT KOBE

Nr. 394

Mai 2024

NPO法人 神戸日独協会

〒651-0085 兵庫県神戸市中央区八幡通2-1-20 磯上公園内

神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部内

TEL/FAX 078-230-8150

郵便振替 01160-9-18199

E-mail: info@jdg-kobe.org URL <http://www.jdg-kobe.org/>

NPO JAPANISCH-DEUTSCHE
GESELLSCHAFT KOBE

Bei Kobe Regatta & Athletic Club

In Isogami-Park Yahata-Dori 2-1-20

Chuo-ku Kobe, Japan 〒651-0085



ドイツ総領事館 150周年
150 Jahre Deutscher Generalkonsulat Osaka-Kobe

NPO 法人神戸日独協会主催

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館開設150周年記念講演会

「神戸での日独交流 ～ 現状と将来展望」

大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館は本年4月1日に開設150周年を迎えました。神戸でのドイツとの交流は1868年の兵庫開港とともに始まりました。居留地に多くのドイツ人が住み日独貿易が活発になり、1874(明治7)年に「兵庫・大阪ドイツ帝国領事館」が神戸に開設されました。ドイツ総領事館は1995年の阪神大震災で大阪へ移転するまで、更に移転後も日独交流の中心として国際都市神戸の発展と密接に関わり、その関係は変わることなく続いています。この特別講演会は歴史の単なる回顧ではなく、現在の神戸でのドイツとの交流と今後の展望を理解することをテーマとしています。

講演1「神戸におけるドイツ総領事館略史」 柘田義一神戸日独協会会長

講演2「神戸における日独交流の現状と展望」(通訳付き)

メラニー・ザクシンガードイツ総領事

講演3「神戸における日独交流の現状と展望」

神余隆博関西学院大学学長特別顧問、元駐ドイツ大使

講演4「神戸における日独産業・経済交流の現状と展望」

小坂節雄神戸日独協会副会長、元在ハンブルク総領事

質疑応答

日時: 2024年6月23日(日) 15:00~18:00 (開場14:45)

会場: 神戸リガッタ・アンド・アスレティック倶楽部ホール

参加: 80名まで、事前予約制、無料

申込: 6月20日(木)までに神戸日独協会事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話・ファックス(078-230-8150)にて。

講演会に引き続き記念祝賀会を開催します。

記念祝賀会

日時：2024年6月23日(日) 18:15~20:30

会場：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホール

参加費：6000円(飲物別)、事前申込制

留学生・大学院生・学生及び20歳未満の若者 3000円

お申込みの上会場にてお支払いください。

申込：6月20日(木)までに神戸日独協会事務室へメール(info@jdg-kobe.org)・電話・ファックス(078-230-8150)にて。

講演会開催基金のお願い

講演会の趣旨をご理解いただき、記念冊子作成、講演会実施のために、一口(1万円)以上の基金をお願いします。

基金をお寄せの方は記念冊子にお名前を明記させていただき、祝賀会にご招待いたします。

寄金方法：下記のいずれかの口座にご送金ください。

《銀行振込》三井住友銀行神戸営業部普通8004770 口座名義 特定非営利活動法人神戸日独協会
《郵便振替》記号番号 01160-9-18199 加入者名 特定非営利活動法人神戸日独協会
※通信欄に「開催基金」をご記入ください。手数料は、ご負担をお願いいたします。

NPO Japanisch-Deutsche Gesellschaft Kobe
**„Deutsch-japanischer Austausch in Kobe:
aktuelle Situation und Zukunftsperspektiven“.**

Vortragsveranstaltung anlässlich des 150-jährigen Bestehens des Generalkonsulats der Bundesrepublik Deutschland in Osaka-Kobe

Das Generalkonsulat der Bundesrepublik Deutschland in Osaka-Kobe feiert in diesem Jahr sein 150-jähriges Bestehen.

Das deutsche Generalkonsulat in Kobe wurde zum Mittelpunkt des deutsch-japanischen Austauschs in Westjapan und stand bis zu seiner Verlegung nach Osaka in Folge der Hanshin-Erdbebenkatastrophe 1995 in engem Zusammenhang mit Kobes Entwicklung zu einer internationalen Stadt.

Die Veranstaltung möchte sich aufbauend auf den bisherigen Entwicklungen der heutigen Situation und den aktuellen Zukunftsaussichten deutsch-japanischen Austausches widmen. Die wirtschaftliche und industrielle Situation Kobes sowie der gesamten Region Kansai steht unter den Vorzeichen der neuen Entwicklungen. Für uns und alle, denen die zwischenmenschlichen, industriellen und wirtschaftlichen Beziehungen Japans zu Deutschland, sowie auch der Erhalt des internationalen Charakters der Stadt Kobe am Herzen liegen, gilt es innerhalb der Entwicklungen am Ball zu bleiben und die Perspektiven zu kennen. So ist es das Anliegen der geplanten

Veranstaltung, hierzu einen Beitrag zu leisten.

Vorträge:

1. „**Kurze Geschichte des deutschen Generalkonsulats in Kobe**“ (Yoshikazu Masuda, Vorsitzender der JDG Kobe)
2. „**Zum aktuellen Stand und den Perspektiven deutsch-japanischen Austauschs in Kobe** (aus deutscher Sicht)“ (Generalkonsulin Melanie Saxinger)
3. „**Zum aktuellen Stand und den Perspektiven deutsch-japanischen Austauschs in Kobe** (aus japanischer Sicht)“ (Takahiro Shinyo, Sonderberater des Rektors an der Kwanseigakuin Universität, ehemaliger Botschafter Japans in Deutschland)
4. „**Zum aktuellen Stand und den Perspektiven deutsch-japanischen Industrie- und Wirtschaftsaustauschs in Kobe**“ (Setsuo Kosaka, Vizepräsident der JDG Kobe, ehemaliger Generalkonsul Japans in Hamburg)

Datum und Uhrzeit: 23. Juni 2024 (So) 15:00-18:00

Veranstaltungsort: KR&AC, Kobe

Teilnehmerzahl: bis zu 80 Personen, Voranmeldung erforderlich

(info@jdg/kobe.org oder Tel./FAX 078-230-8150)

Die Teilnahme an den Vorträgen ist kostenlos.

Festveranstaltung :

Datum und Uhrzeit: 23. Juni (So), 2024 18:15 – 20:30

Ort: KR&AC, Kobe

Teilnahme: 6000 Yen, SchülerInnen und Studierende 3000 Yen

(Getränke sind nicht inkludiert)

Bitte um Spenden zur Durchführung der Vortragsveranstaltung und dem Erstellen einer Jubiläumsbroschüre.

Mindestbetrag: 10.000 Yen

Die Namen der Spenderinnen und Spender werden in der Jubiläumsbroschüre angeführt.

(Sollte Anonymität gewünscht sein, bitten wir um diesbezügliche Mitteilung.)

Für die Teilnahme an der Jubiläumsveranstaltung (Buffet) werden keine weiteren Kosten verrechnet.

Wir bitten um Überweisung an eines der folgenden Kontos:

1. Sumitomo Mitsui Banking Corporation (三井住友銀行) Kobe Eigyobu (神戸営業部)

Kontonummer: (Girokonto/普通) 8004770

Kontoname: Tokutei-hieiri-katsudo-hojin Kobe-nichidoku-kyokai (特定非営利活動法人神戸日独協会)

2. Postbankkonto: 01160-9-18199

Name des Kontoführers: Tokutei-hieiri-katsudo-hojin Kobe-nichidoku-kyokai (特定非営利活動法人神戸日独協会)

Verwendungszweck: Spendenaktion

Wir bitten um Übernahme von u.U. anfallenden Überweisungsgebühren.

2024年度通常総会報告

NPO法人神戸日独協会会長 柘田 義一

2024年度通常総会が5月19日(日)に神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールにて開催されました。

各議題の報告・審議が行われ、すべての議題が了承されました。

2023年度の事業報告では7月中旬の事務所移転前の3カ月余りは移転準備のために行事が出来なかったが、移転以降はオクトーバーフェスト、クリスマス祝賀会、会員コンサート等定例行事を行ったことが報告されました。ドイツ語講座とドイツ文化教室と特別講座及び会員による各種サークル活動も年間を通じて定期的に開催されたこと、移転後に2つの会員サークルが活動を始めたことが報告されました。特にこれまで施設上の問題から中断していた「歌声サロン」の復活や「ドイツ文化サロン」での連携などKR&ACへの移転効果が見られること。その反面、コロナ禍中に会員間の絆を維持するために行われてきた Stammtisch mit Zoom は対面形式による集会が一般的になったので従来の Stammtisch に移行したが、極めて低調なので休止中であることが報告されました。

決算報告では、期中に事務所を神戸国際会館から KR&AC に移転することになり、当初予算は移転関連の費用を見込み、マイナス1,145,904円を予算計上していましたが、決算では、マイナス2,748,057円となりました。主な要因は、個人及び法人会費収入の減少とドイツ語講座ほか事業収入の減少及び、一部移転に関連して、新旧事務所の家賃・共益費等の重複がありました。今期はこのような赤字決算となりましたが、当協会最大の固定費用であった家賃・共益費等がKR&ACへの移転により、年間約380万円から約180万円に軽減されますので、今後当協会の赤字体質からの脱却が期待されます。

2024年度事業計画案では定例の主催行事の他に「ドイツ総領事館開設150周年」や「会報発行400号」の記念行事、ドイツからの来県要人歓迎会や横浜日独協会など各地日独協会との交流会等の計画、今の神戸の産業をドイツへ発信するための法人会員訪問、コロナ禍で停滞した提携先であるシュレースヴィヒ・ホルシュタイン州との交流活性化、ドイツ語圏からの留学生及び従業員家族の支援・交流、会員相互の交流親睦のための会員サークルの拡充など協会活動の活性化が提案されました。

収支予算案では特に個人会員増を目指すこと、会員コンサートやドイツワインイベント等の行事復活や各種セミナー等による事業費増を目指すことが提案されました。経常支出に関しては協会事務室維持費が大幅に減額となり改善されます。協会活動の発信のためのホームページやSNS強化のためにIT関連費を新設しました。プラス収支となるべく経常収支案が報告されました。

本年度は理事改選年であり、3名が転任で退任しました。慣例に従い、それぞれ後任者を紹介していただき、理事会案として提案し承認されました。他の理事はすべて再任されました。

退任理事：兵庫県産業労働部次長兼国際局長小林拓哉氏、TOA(株)取締役常務執行役員増野善則氏、(株)三井住友銀行公共・金融法人部長河上哲也氏。三氏にはコロナ禍の困難な時にご尽力をいただき、心より御礼を申し上げます。

新任理事：兵庫県産業労働部国際局長塩見彰浩氏、TOA(株)執行役員海外事業本部長西野崇

氏、(株)三井住友銀行公共・金融法人部長酒井俊氏。

総会後に開催しました新理事会にて、理事による会長及び役職員の互選により、新役員が次のように決まりました。よろしくお願いいたします。

会長 枘田義一、副会長 赤松慎治郎、小坂節雄、

専務理事(兼事務局長) 尾辺和也、常務理事 Stefan Trummer-Fukada

議案その他として会長より、事務所の引越についての報告、ドイツ総領事館開設150周年講演会・祝賀会と世界パラ陸上競技会観戦会について説明が行われました。

本年もほぼ例年通りの日程にて総会の告知・準備・開催を行いました。昨今の郵便事情を考慮はしていましたが、予想を上回る悪化で会員の方々には多大なご迷惑をお掛けする結果となりました。深くお詫びを申し上げます。総会にて会員より、総会招集通知法の見直しについてのご意見をいただきました。通知法については「定款」に定められていますので、今回の反省を踏まえて、理事会にて検討をして新案を提出させていただきます。この件については、総会を開催せずに「書面表決」とすることでご了承をいただきました。

2024年度通常総会・会員懇親会に参加して

会員 川見 正之

5月19日、神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部ホールで神戸日独協会2024年度総会が開催されました。

まず、議長として枘田会長が選任され、総会資料に従い2023年度の事業報告や決算報告、2024年度の事業計画や収支予算案が審議されました。

コロナ禍の約3年の活動制約や厳しい予算状況の中で、2023年度の決算は事務所移転に伴う一時的費用増を乗り越え、以後の財務の健全化に向けての運営努力が反映された報告でした。

2024年度の事業計画案に於いては、感染症としてのコロナ禍はまだ油断できないものの、徐々に行動制限が解除されるに伴う、積極的な開催行事の計画が提示されていました。特に今年は大阪・神戸ドイツ総領事館開設150周年を迎え、それに関連した講演会、祝賀会、更に横浜日独協会との交流親睦会も計画されているとのことです。

又、時局に合わせての開催行事については、総会資料では明記されていませんが、枘田会長より、ヴァイツゼッカー元ドイツ大統領の当時の秘書の方をお招きしての講演会、「ベートーベン第9が演奏されて今年が200周年」に関連づけたコンサートも検討中とのお話がありました。

このように更なる活発な事業活動のためにも2024年度は KR&AC への移転による賃貸料、管理費の低減とともに、法人会員及び個人会員の会費収入、事業収入の確保による健全な財務運営の重要性を実感しました。

各議案の承認の後、新任理事のご紹介がありました。

総会の後、懇親会が開催されました。ビュッフェスタイルのケータリングに加え、暖かいグーラッシュも堪能させていただきました。美味しい食事を摂りながら日頃お会いする機会の少ない方々とも、

それぞれ神戸日独協会に入会したいきさつをきっかけにドイツに関する共通の話題が広がり親交を深めることができました。

また柘田会長も各テーブルで会員との会話に加わってくださり、おかげさまで有意義な楽しい時を過ごさせていただきました。

今後のドイツビアフェスト、ドイツワインアーベントの開催を楽しみにして、懇親会場を後にしました。

柘田会長はじめ総会・懇親会を準備して下さった方々に感謝いたします。

主催行事案内

横浜日独協会との交流会

会報3月号にて予告いたしました。我々の協会と親交の深い横浜日独協会の前会長、副会長をはじめ会員の方18名が7月2日より坂東俘虜収容所跡等の見学で神戸にいらっしゃいます。横浜日独協会は、神戸と同じく明治以来の長い歴史を持つ国際港湾都市である横浜を本拠として、近年特に顕著な活動をしています。この機会に、日本を代表する国際都市での現在の国際交流について歓談をしてさらに親睦を深めませんか。多くの方のご参加をお願い申し上げます。御一行は翌3日に大型バスをチャーターして神戸から坂東俘虜収容所跡、鳴門市のドイツ館や阿波踊り会館等を訪れます。まだバスに余裕があるとのことですので、未だ坂東俘虜収容所等を見学していない方は是非ともご参加ください。

交流親睦会

日 時： 2024年7月2日(火) 18:30～

会 場： ステーキ&ビアレストラン「ロイン三宮店」

会 費： 5000円

申 込： 事務局へ7月1日(月)までにメール(info@jdg-kobe.org)・電話・ファックス(230-8150)にて。

坂東俘虜収容所等徳島見学

日 程： 2024年7月3日(水)

9:15頃三宮発—鳴門市ドイツ館(坂東俘虜収容所跡)—鳴門の魚大将で昼食—徳島市阿波踊り会館—(徳島空港経由)—18:30頃三宮着

参加費： 11700円(バス代、各入館料、昼食は各自)

申 込： 5月30日(木)までに事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話・ファックス(078-230-8150)にて。

予告 ドイツビアフェスト2024

夏恒例の「ビアフェスト」を下記のように開催します。

詳しくは会報次号にてお知らせしますが、ご予約にお入れください。

日 時： 2024年8月3日(土) 17:00～19:00

会 場： ビアレストラン「ロイン 三宮店」

行事報告

「大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 150 周年記念祭」に出席して

会員 沼田 宏明

5月10日(金)18:30より大阪中之島美術館において、「大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事館 150周年記念祭」が「Arts&Diplo Beats」と題して開催されました。スピーチに先立ちチェロの伴奏によるダンスパフォーマンスが披露されました。続いて、ザクシンガー総領事、横山大阪市長、ゲツェ駐日大使からスピーチがあり、総領事館の歩み、日独交流の歴史などいろいろなエピソードが紹介されました。演台の後ろではドイツから来たアーティストがその場でパネルに絵を描いたり、日本人アーティストによるアートパフォーマンスや、ドイツ生まれの日本人ラッパーの演奏など各種のアートで盛り上がりでした。また、全国の会員有志が作成に協力したゴムひもをつないだ輪も会場全体に張り巡らされており、美術館の展示のような趣でした。参加者には「未来に続く物語—ドイツ総領事館の150年—」と題したマンガの小冊子も配付されました。事前登録した人数だけで500人以上とのことでしたので、大変盛況だったと感じました。

「KOBE2024 世界パラ陸上競技選手権大会」を観戦して

会員 沼田 宏明

5月17日(金)から5月25日(土)の9日間にわたり神戸総合運動公園ユニバー記念競技場で、「KOBE2024世界パラ陸上選手権大会」が開催されました。1994年ドイツのベルリンで第1回大会が開かれ、今回の第11回大会が神戸での開催になります。世界100以上の国と地域から約1,300人の選手が出場しました。注目のトップアスリートとしてドイツから出場する男子走り幅跳びのマルクス・レーム選手(パラリンピック三連覇中、世界記録(8,72m)保持者)がいます。世界記録の更新可能性もあるため5月22日(水)夕方のセッションでの決勝を観戦してきました。着地点の真横のいいポジションから観戦できましたので、各選手の迫りに満ちた跳躍を目の当たりにすることができました。レーム選手は世界記録更新にはなりませんでしたが、他の選手を寄せ付けず8,30mの記録で優勝しました。トラックとフィールドで様々な競技が並行して行われるため、全ての競技を興味深く見ることができました。今後もパラスポーツに関心を持っていたいと感じました。

会員の広場

このコーナーは、会報を通して会員相互の交流をしていただくための「広場」です。投稿をお待ちしています。

(投稿規定: MSPゴシック12ポ、A4 1枚程度まで(多くの方に投稿していただくために、字数を厳守してください)、添付にて毎月第4月曜までに事務局へ)

イエナ便り ～2024年は選挙イヤー～

会員 竹中ららら(イエナ在住)

今回はドイツの選挙について取り上げます。今年2024年は重要な選挙が多く行われます。(1)地方選挙(Kommunalwahl):例えば Thüringen 州の各市町村での議会選・市長選・区長選は5月26日実施、(2)欧州選挙(Europawahl):6月実施、(3)州議会選挙(Landtagswahl) : Thüringen, Sachsen, Brandenburg 州で9月実施。町には様々な政党のポスターが張られ、学生寮のポストにも多くのチラシが投函されています。残念ながら私は投票権がありませんが、ドイツの国籍を持つ者は16から18歳になると(州により異なる)選挙権があります。EU 市民であればドイツに3か月以上居住している場合は、地方議会選挙にも参加できます。投票の際に各政党や候補者の主張を理解するためのプログラムも開発されています。例えば Wahl-O-Mat というサイトでは、ある具体的な議論や政策に対する質問に答えていくことで、自分の考えに近い候補者が提示されます。このプログラムが国政選挙レベルだけでなく、市長選挙レベルでも提供されているのは非常に画期的だと思います。自分が住む町で議論されているテーマ、例えば公共交通機関、市営住宅の建設、保育園の増設減設、街中の監視カメラの設置など、生活に密接する内容であるため自分が政治に参加しているという意識が自然に高まります。

一方で選挙に関わる問題も多く、テューリンゲン州では4月初旬以降約900枚の選挙ポスターが破壊されたという報告があり、それらは掲示後24時間経たないうちに被害にあっています。また政治家に対する身体的暴力や言葉による攻撃も各地で起こっています。公共放送テレビ tagesschau のホームページで、政治学者 Wolfgang Merkel 氏はこれらの問題の原因は、自分の考えや状況が既成の民主主義政党には代表されていないと感じる人が増えていることだと言います。この無力感が過激な暴力や右派ポピュリスト政党への支持にも繋がっていると述べています。極右政党の拡大はイエナ市も例外ではなく、46ある議席のうち AfD(ドイツのための選択肢)は現在5議席で、左派党(Die Linke)9議席、緑の党(Bündnis/die Grünen)9議席、ドイツ社会民主党(SPD)6議席、キリスト教民主同盟(CDU)6議席、自由民主党(FDP)6議席に続く多さになっています(前回2019年選挙の結果。前々回2014年選挙では参加なし)。

ドイツには選挙権を持たずともそこに居住する外国にルーツを持つ人が多くおり、私もそのうちの一人です。選挙に行けずとも選挙の結果は自分の生活に関係するというもどかしい境遇にある中でも、今後の行方を注視しここでまた発信できればと思います。

ドイツ歌声サロン

この会は、ドイツ歌曲・オペラの名曲、ドイツの流行歌やドイツ映画音楽、ビアソングのみならずドイツの家庭や集会で広く歌われ、日本でも親しみ歌い継がれてきたドイツの愛唱歌をも採り上げています。3ヶ月でドイツ語での歌3曲をマスターします。

6月と7月は、引き続き In München steht ein Hofbräuhaus (ミュンヘンにはホーフブローイハウスがある)、Muß i denn (別れの歌)、An die Freude (歓喜の歌、ベートーヴェン交響曲第9番第4楽章で歌われる第一主題)を歌います。

講師：岩島 佳子さん
日時：2024年 6月1日(土)、7月6日(土) 13:30～15:00
場所：神戸リガッタ・アンド・アスレチック倶楽部教室
参加費：2000円
参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。ドイツ語の歌を主として歌いますが、ドイツ語が初めての方も是非ともご参加ください。
申込：事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ハントアルバイトの会(ポーセラーツ)

昨秋より手仕事による製品作りのお好きな方の「会員サークル ハントアルバイトの会」が活動しています。カルチャー教室などでビーズ&ジュエリー刺繍やポーセラーツ等を学ぶ「ぶどうの木」を主宰している堀田真美子さんを講師としてお招きして、初めて参加の方はマグカップや小皿に、継続参加の方は希望の食器に希望の絵柄で製作します。自分のデザインによる食器作りを楽しみましょう。ご参加をお待ちしています。

講師：堀田真美子さん
日時：6月30日(日)14:00～16:00
場所：神戸日独協会教室
会費：初心者1000円、継続者3000円(材料費+窯焼き代+道具使用料)
参加条件：神戸日独協会会員以外にも多くの方のご参加をお待ちしています。
申込：事務局へメール(info@jdg-kobe.org)・電話/ファックス(078-230-8150)にて。

ドイツ語談話室

第234回ドイツ語談話室

日時：2024年4月20日(土) 14-16時

場所：KR&AC内 神戸日独協会会議室

テーマ：決済システム

今回の司会はドロテア合田さんが担当され、自身いかに多くのカードを決済用に持ち歩いているか、テーブル上に拵げながら話された。銀行系カード、スーパー系カード、交通系カード、クレジットカード、等々実に多くのカードがある。しかし司会者自身としては、一番安心して使えるのはやはり現金であると話され、ドイツでは今日でも皆が安心して使っているのは、やはり現金だそうだ。

以下に、参加者の皆さんの発言を一部紹介する。

—キャッシュレス決済でもとても種類が多くある。クレジットカードによるもの、スマホを使うもの、前もってカードにチャージしておくもの等々、多くて複雑である。

—司会者が使っているのは地方銀行系のカードだが、結局は三菱、住友、と言った大手銀行グループ傘下のものだ。

- 神戸市は高齢者用の優待乗車カードを出していて、神戸市バスや地下鉄、神戸市に乗り入れている他社のバスを子供料金で利用できる。乗車料金が約半額になる。
- 多くのカードには、所謂ポイント制が併用されていて、カードの利用金額に応じてポイントがたまるようになっている。たまったポイントに応じていろいろな特典が得られる。
- だれがいつこのポイント制を考え出したのか知らないが、大した発明である。今や世界中の消費者にインセンティブを与えて、大げさだが、今や世界経済の発展に寄与している。
- 飛行機を利用して旅行するときも、マイレージサービスなるものが導入されていて、ポイント制同様飛行機を利用したマイレージに応じていろいろな特典が与えられる。
- スマートフォンによる支払いは、バッテリー不足の時にシステムが働かなるトラブルがあり、気を付けることが必要だ。
- クレジットカードほか、利用するときパスワードや ID が必要なことが多くなって来ており、どのカードにはどの PW や ID が要るのか一覧表を持っていないといけないので、その管理が大変である。
- プリペイド式カードでは、前もって入金した金額までしか使えないので安心だ。仮に紛失しても、入金した金額までのリスクで安全でもある。
- ビットコインなるものもあるようだが、とてもリスクが多いようで、危なくて使えない。
- 日本人とドイツ人は、まだ現金での決済が多い国民のようだ。利便性よりも安全を優先する国民のようである。

今後のドイツ語談話室の予定

第236回 2024年6月15日(土) 14—16時 テーマ : 近年の悪天候

Protokoll der 234. Deutschen Gesprächsrunde

Zeit: Samstag, 20. April 2024, 14 bis 16 Uhr

Thema: Zahlungsmittel

Dieses Mal hatte Frau Dorothea Goda die Gesprächsleitung und erzählte, dass sie zum bargeldlosen Einkauf stets viele Karten bei sich trägt. Sie hat diese auf dem Tisch ausgebreitet: Bankkarten, Supermarktkarten, Karten für den öffentlichen Verkehr, Kreditkarten, usw. Selbst jedoch ist sie der Meinung, dass Bargeld immer noch am sichersten ist. Und auch in Deutschland ist Bargeld immer noch das Zahlungsmittel, das jeder mit ruhigem Gewissen benutzt.

Hier einige der Wortmeldungen zum Thema:

- Es gibt viele Arten bargeldloser Zahlung. Kreditkarten, Smartphones, Prepaidkarten, usw. Das alles ist sehr kompliziert.
- Die Gesprächsleiterin benutzt noch eine Karte einer lokalen Bank, doch auch die lokalen Banken gehören mittlerweile alle bereits zu größeren Bankverbänden, wie Mitsubishi oder Sumitomo.
- Die Stadt Kobe bietet für die Fahrt mit öffentlichen Verkehrsmitteln eine spezielle

Fahrkarte für Senioren an. Diese ermöglicht, Busse und U-Bahnen zum ungefähr halben Preis zu benutzen, was auch dem Kindertarif entspricht.

-Viele Karten sind mit einem Punktesystem kombiniert. Je nach Einkaufsbetrag sammelt man Punkte, die gegen verschiedene Dienstleistungen eingetauscht werden können.

-Ein Teilnehmer sagt, dass er nicht weiß, wer diese Punktesysteme ausgedacht hat und seit wann sie eigentlich schon im Gebrauch sind, er hält diese aber für eine großartige Erfindung. Verbrauchern in aller Welt bieten sie einen Anreiz, der der Weltwirtschaft zugutekommt.

-Ähnliche Systeme gibt es auch bei Flugreisen. Bei sogenannten Vielfliegerprogrammen kann man Flugmeilen sammeln und diese zum Kauf von Flugreisen oder anderer Produkte verwenden.

-Bei Zahlungen mit Smartphone ist bei niedrigem Batteriestand Vorsicht geboten.

-Zur Verwendung von Kreditkarten und anderen Karten werden zunehmend Passwörter und IDs erforderlich, deren Verwaltung schwierig ist. Es muss eine Liste darüber geführt werden, welche Passwörter und IDs mit welchen Karten verknüpft sind.

-Mit einer Prepaid-Karte kann man sicher sein, dass damit nur der Betrag verwendet werden kann, der im Vorhinein darauf gespeichert wurde. Sollte die Karte abhandenkommen, begrenzt sich der Verlust auf den eingezahlten Betrag.

-Manchmal hört man von Bitcoins. Deren Verwendung scheint jedoch sehr riskant zu sein.

-Man sagt von den Japanern und den Deutschen, dass sie noch immer zu denen gehören, die häufig Barzahlungen tätigen. Scheinbar ist vielen von ihnen Sicherheit wichtiger als Komfort.

Nächstes Treffen:

Samstag, 15. Juni 2024, 14 bis 16 Uhr. Thema: Die Unwetter der letzten Jahr

6月の企画委員会開催のお知らせ

この会は協会と会員との交流のための会です。昨年8月より会員の参加を得て、協会の事業について種々の企画のご提案をいただき、協会の活動は活発化しています。是非とも参加し、協会の運営や企画などにご意見を下さい。

日時: 2024年6月8日(土)15:00~17:00

場所: 神戸日独協会事務室兼会議室

話題: 新年度の事業企画、協会の発信、協会会報について。

ご出席いただける方は、事務室へ電話・メールにてご連絡ください。当日参加も可。

事務室からのお知らせ

会報5月号の発行遅延のお詫び

本号でお知らせすべき記事が発行予定日前に集中しましたので、急遽記事調整のために一週間遅らせていただきました。発行遅延をお詫び申し上げます。

会報印刷・発送ボランティア募集

次の印刷と発送は6月28日(金)を予定しています。ご協力をお願いします。

印刷: kinko's 三宮店(神戸市中央区雲井通 4-2-2 マークラー神戸ビル 1F) 10::30~

発送: 神戸日独協会事務室にて、12:00~

お手伝いいただける方は事前に事務室へご連絡下さい(TEL 078-230-8150)。

行事等の写真について

会報では輪転機印刷のため写真等の掲載は略させていただきます。協会ホームページ及びSNSに掲載していますので、ぜひご覧ください。

 ホームページ Homepage	 インスタグラム Instagram	 X Twitter
--	--	--

これからの神戸日独協会の催し

日時	催し	会場	申込〆切 など
6月1日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室	当日参加可
6月8日(土) 15:00~17:00	企画委員会	神戸日独協会会議室	当日参加可
6月15日(土) 14:00~16:00	ドイツ語談話室	神戸日独協会会議室	当日参加可
6月23日(日) 15:00~18:00	ドイツ領事館150周年記念講演会 神戸での日独交流~現状と将来展望	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部ホール	6月20日まで
6月30日(日) 14:00~16:00	ハントアルバイトの会 (ポーセラーツ)	神戸日独協会会議室	当日参加可
7月2日(火) 18:30~20:30	横浜日独協会との交流会	ステーキ&ビアレストラン 「ロイン三宮店」	7月1日まで
7月6日(土) 13:30~15:00	ドイツ歌声サロン	神戸リガッタ・アンド・アス レティック倶楽部教室	当日参加可

